

2014年5月期第1四半期 決算説明資料

株式会社インテリックス

「リノベーション(再生)という マンションの新しい選択」

Inte||lex

1. 2014年5月期第1四半期 決算概要

- 1-1 連結業績ハイライト
- 1-2 連結損益の概況
- 1-3 連結貸借対照表の概況
- 1-4 事業期間の状況

2. 2014年5月期 連結業績予想

- 2-1 第2四半期の連結業績予想の修正
- 2-2 2014年5月期 通期の連結業績予想
- 2-3 2014年5月期 連結業績予想の内訳
- 2-4 株式政策及び配当予想

3. 中古マンション市場の動向

- 3-1 中古マンション市場の動向①(前年比)
- 3-2 中古マンション市場の動向②(実数推移)
- 3-3 中古マンション市場の動向③(成約価格)

4. 2014年5月期 重点方針の進捗状況

- 4-1 2014年5月期 重点方針の考え方
- 4-2 事業エリアの拡大による仕入拡充
- 4-3 買取保証付バリューアップパッケージ
- 4-4 新築分譲マンション事業の推進
- 4-5 賃貸アセットビジネスの強化
- 4-6 個人向けリノベーション内装事業の拡大
- 4-7 法人向けリノベーション内装事業の拡大

5. コーポレート・データ 【参考資料】

- 5-1 セグメント別 売上高
- 5-2 セグメント別 売上総利益
- 5-3 物件販売の状況①
- 5-4 物件販売の状況②
- 5-5 物件仕入の状況①
- 5-6 物件仕入の状況②
- 5-7 当社販売実績と新築マンション供給戸数との比較
- 5-8 安定した需要の中古マンション市場
- 5-9 リノベーション住宅推進協議会の活動状況
- 5-10株式の状況
- 5-11会社概要及び沿革

1. 2014年5月期 第1四半期 決算概要



2014年5月期 1Q (2013.6~2013.8)

(単位:百万円)

	前1Q	当1Q	前1Q差
売上高	6,522	6,589	+66
売上総利益	620	962	+341
営業利益	44	351	+307
経常利益	△ 82	263	+346
四半期純利益	△ 58	157	+215
	前期末	当1Q	前期末差
総資産	18,037	17,373	△ 664
たな卸資産	10,977	10,649	△ 328
自己資本比率	33.5%	34.3%	+0.8ポイント

【リノヴェックスマンションの販売実績】

販売件数: 239件 (前1Q比: △55件)

平均単価: 21.3百万円 (前1Q比: +0.1百万円)

■ リノヴェックスマンション販売の利益率が大幅に改善 ⇒ 上期を上方修正

【損益ダイジェスト】 (前1Q比)

- 売上高は、前1Qと同水準(前1Q比1.0%増)
 - リノヴェックスマンション販売は、採算性重視による件数減により、売上高が減少
 - オフィスビルの売却が、売上に寄与。
- 利益は、想定を上回り大幅に増加
 - リノヴェックスマンションの粗利益率が上昇
前1Q:7.6% ⇒ 当1Q:13.8% (次頁参照)
 - 支払利息等の営業外費用減少による利益増

【貸借対照表ダイジェスト】 (前期末比)

- たな卸資産は、オフィスビルの売却により減少
- 総資産の減少により、自己資本比率が向上

■ 四半期毎の業績推移

	前1Q		前2Q		前3Q		前4Q		当1Q	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	6,522	100.0%	6,363	100.0%	4,975	100.0%	7,974	100.0%	6,589	100.0%
売上総利益	620	9.5%	711	11.2%	592	11.9%	1,138	14.3%	962	14.6%
営業利益	44	0.7%	152	2.4%	61	1.2%	503	6.3%	351	5.3%
経常利益	△ 82	△ 1.3%	46	0.7%	△ 37	△ 0.8%	392	4.9%	263	4.0%
四半期純利益	△ 58	△ 0.9%	25	0.4%	△ 40	△ 0.8%	251	3.1%	157	2.4%

■ 売上高および粗利益率の推移

	前1Q		前2Q		前3Q		前4Q		当1Q	
	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率	売上高	粗利益率
リノヴェクスマンション	6,241	7.6%	6,074	9.6%	4,724	9.8%	6,494	13.5%	5,098	13.8%
その他不動産	63	23.4%	32	27.2%	3	27.0%	1,142	11.3%	1,197	9.6%
物件販売	6,304	7.7%	6,107	9.7%	4,727	9.8%	7,636	13.2%	6,295	13.0%
賃貸収入	173	64.5%	162	58.2%	163	68.4%	174	66.4%	164	66.0%
その他売上	43	47.3%	93	29.1%	84	18.2%	164	11.1%	129	29.9%
売上高合計	6,522	9.5%	6,363	11.2%	4,975	11.9%	7,974	14.3%	6,589	14.6%

■ たな卸資産の減少に伴い、有利子負債も減少傾向

	2013年5月期 期末		2014年5月期 1Q末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
たな卸資産	10,977	60.9%	10,649	61.3%	△ 328	△ 3.0%
その他流動資産	1,913	10.6%	1,560	9.0%	△ 352	△ 18.4%
流動資産	12,891	71.5%	12,209	70.3%	△ 681	△ 5.3%
固定資産	5,146	28.5%	5,163	29.7%	17	+0.3%
【資産合計】	18,037	100.0%	17,373	100.0%	△ 664	△ 3.7%
流動負債	8,132	45.1%	8,116	46.7%	△ 16	△ 0.2%
固定負債	3,818	21.2%	3,261	18.8%	△ 556	△ 14.6%
【負債合計】	11,950	66.3%	11,377	65.5%	△ 572	△ 4.8%
【純資産合計】	6,087	33.7%	5,995	34.5%	△ 91	△ 1.5%
【負債及び純資産合計】	18,037	100.0%	17,373	100.0%	△ 664	△ 3.7%

【たな卸資産の内訳】

通常物件	69億円 (+5億円)
	373件 (+35件)
賃貸物件	35億円 (△9億円)
	167件 (0件)

- ◆ 通常物件: 販売<仕入で増加
- ◆ 賃貸物件: オフィスビルを売却

- ◆ 長期保有収益物件(オフィスビル等)
・保有高: 41億円、7件
(前期末から変わらず)

- ◆ 有利子負債残高は減少
・有利子負債残高: 99億円
(前期末比: △6億円、△6.5%)

- 事業期間は、重要な経営管理指標 ⇒ 引き続き事業期間を注視する



▶ リノヴェックスマンションの事業期間の推移

(保有期間180日超過の長期滞留物件を除く)



- 当1Qは販売が好調だったため期間が短縮 前1Q:107日→当1Q:101日

2. 2014年5月期 連結業績予想



■ 当1Qが想定を上回るペースで進捗 ⇒ 上期(当2Q累計)の業績を上方修正

(単位:百万円)

	2013年5月期		2014年5月期 上期 (修正予想)					
	上期 (実績)		修正予想		期初予想差異		前期上期差異	
	金額	売上比	金額	売上比	期初予差	期初予比	前上期差	前上期比
売上高	12,885	100.0%	12,579	100.0%	+976	+8.4%	△ 306	△ 2.4%
営業利益	196	1.5%	561	4.5%	+117	+26.5%	+365	+186.2%
経常利益	△ 35	△ 0.3%	360	2.9%	+136	+61.0%	+396	—
当期純利益	△ 32	△ 0.3%	229	1.8%	+95	+71.0%	+262	—

上方修正の理由

- リノヴェックスマンションの販売が好調
⇒ 利益率が、期初計画に比べて高い水準で推移している点
- 当1Qに、オフィスビルの売却が加わった点

■ 通期の業績予想は、保守的に期初予想を据え置き

(単位:百万円)

	2013年5月期 通期 (実績)		2014年5月期 通期 (予想)			
	金額	売上比	金額	売上比	前期差	前期比
売上高	25,836	100.0%	26,832	100.0%	+995	+3.9%
営業利益	761	2.9%	1,268	4.7%	+507	+66.6%
経常利益	319	1.2%	827	3.1%	+507	+158.9%
当期純利益	178	0.7%	508	1.9%	+330	+185.5%

- 当期業績は、期初の想定を上回るペースで進捗
- 季節要因により、下期業績の寄与度が大きい

◎ 通期業績を据え置き

- リノヴェックスマンション販売が好調で、増益確保

◎ 前期比で、
営業利益 1.6倍、
経常利益 2.5倍を予想

売上区分別の内訳見込

(単位:百万円)

売上区分	2013年5月期 (実績)		2014年5月期 (予想)			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前期差異
物件販売	24,776	95.9%	25,266	94.2%	+2.0%	+490
賃貸収入	674	2.6%	643	2.4%	△4.6%	△30
その他収入	385	1.5%	922	3.4%	+138.9%	+536
売上高	25,836	100.0%	26,832	100.0%	+3.9%	+995

■ リノヴェックスマンション の販売見込

【販売件数(予想)】

通期 **1,100件**

(前期比: △24件、△2.1%)

【販売価格(予想)】

通期 **21百万円**

(前期比: +0.3百万円、+1.7%)

■ 「その他不動産事業」の物件販売:

- 下期、新築分譲マンション「リシャール目黒碑文谷」の引渡しによる売上を見込む
- 下期、アセット物件の売却による売上を見込む

■ 「その他不動産事業」のその他収入:

- 「エコキューブ」をはじめとする、リノベーション内装事業の拡充による増収を見込む

自社株買い

■ 1株当たりの利益向上に向けて、自己株式の取得を実施

- 実施期間: 2013.7.22～8.8
- 取得した株数: 3,000株（発行済み株数の4%）
- 取得価額の総額: 1億80百万円

※発行済株式総数: 76,006株(2013.8.8開示時点)

株式分割

- #### ■ 1株につき100株の割合で株式分割を実施予定 単元株制度を採用し、単元株式数を100株とする（効力発生日:2013.12.1）

配当予想

■ 利益伸張に対応し、増配を予想

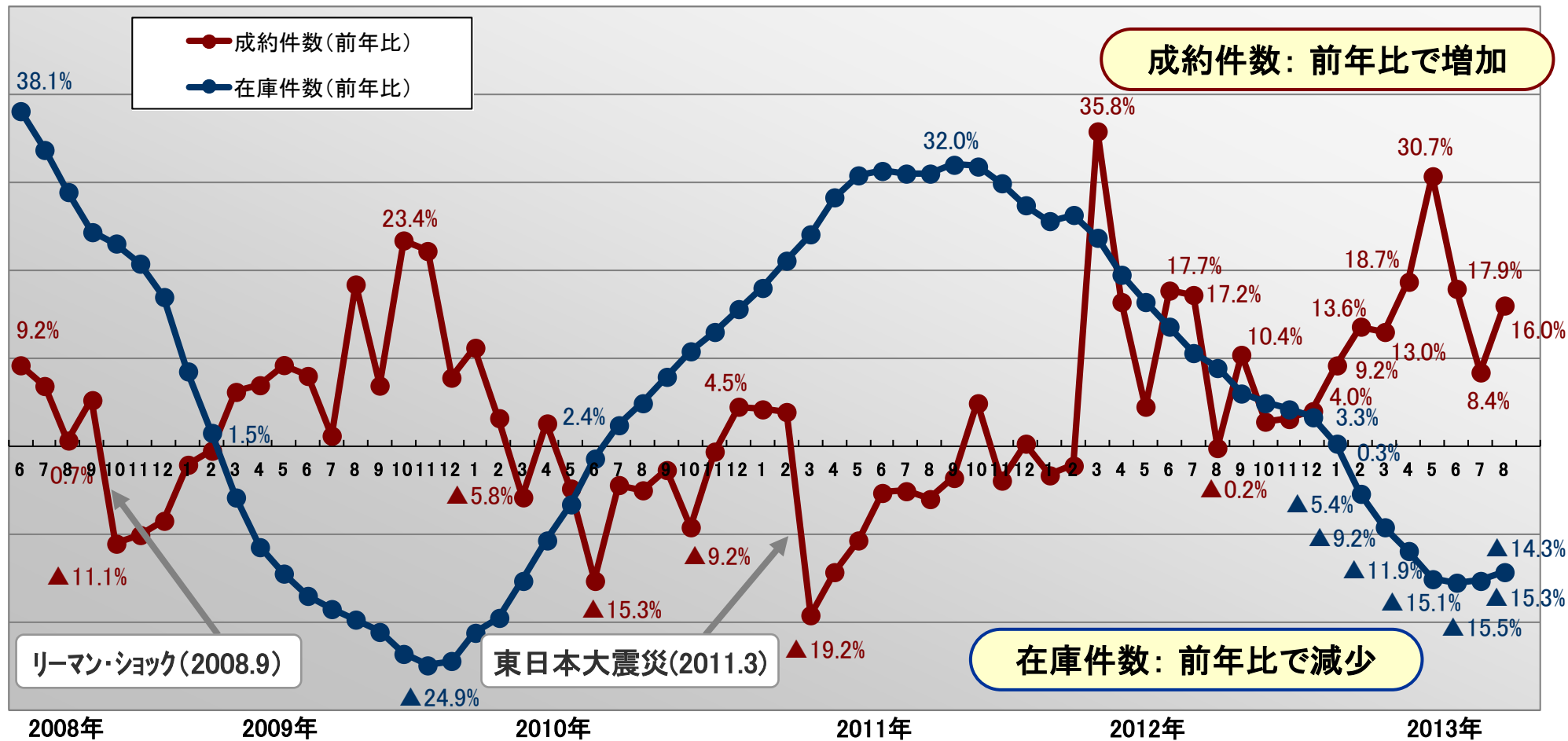
決算期	中間	期末	年間	連結配当性向
2013.5期(実績)	0円	1,000円	1,000円	42.4%
2014.5期(予想)	1,000円	※ 10円	—	29.7%

※2014.5期の期末配当予想は、株式100分割を反映し、配当額は1単元で1,000円。年間での配当額は、2,000円を予想。

3. 中古マンション市場の動向

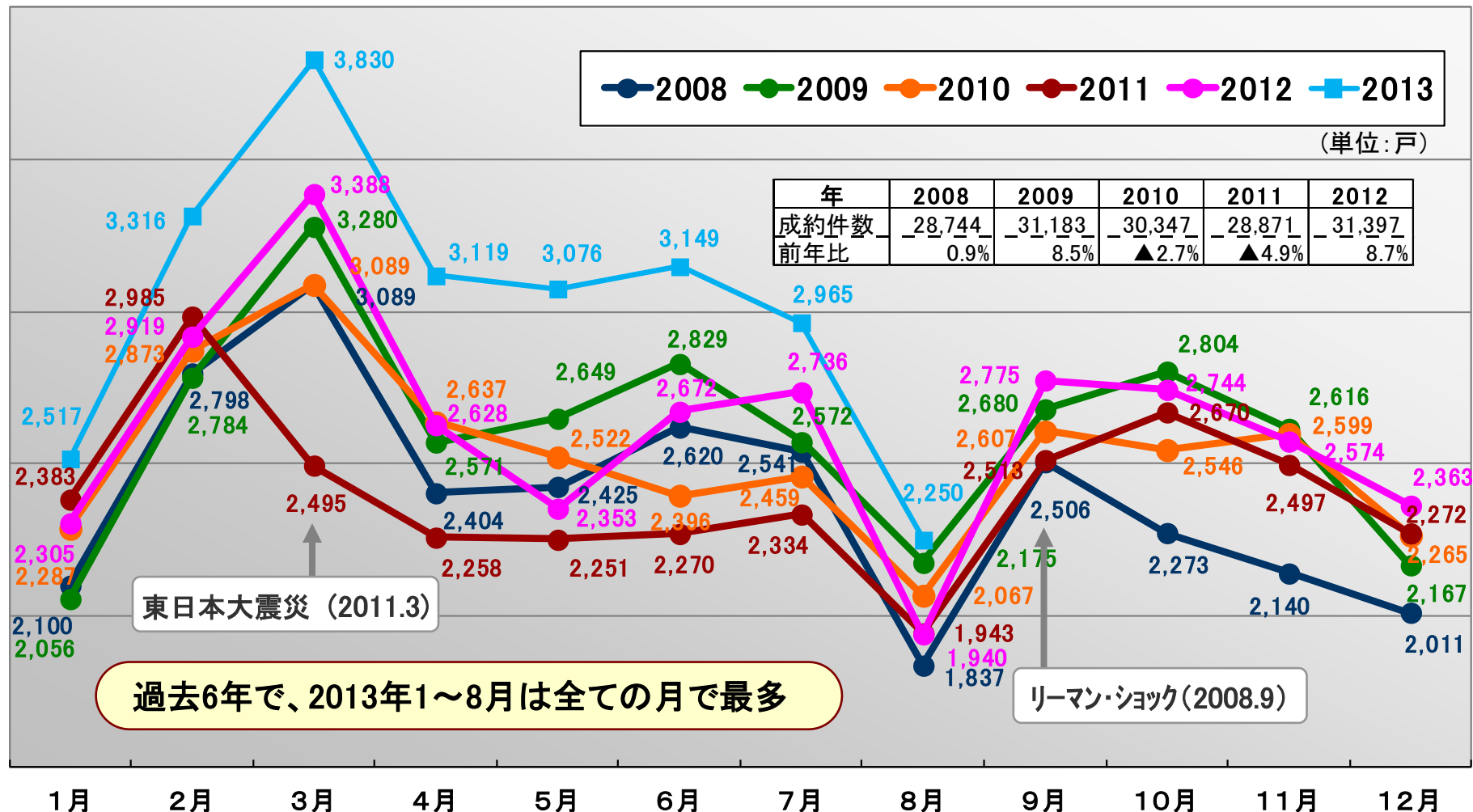


■首都圏の中古マンション成約件数及び在庫件数の推移 (前年比での増減率トレンド 2008.6-2013.8)



※(財)東日本不動産流通機構(東日本レインズ)のデータを基に当社が作成

■首都圏の中古マンション成約件数の推移 (月次実数トレンド 2008.1-2013.8)



※(財)東日本不動産流通機構(東日本レインズ)のデータを基に当社が作成

■首都圏の中古マンション成約㎡単価指数の推移（2005.1-2013.8）

（㎡単価指数：2005年1月を100とした指数）

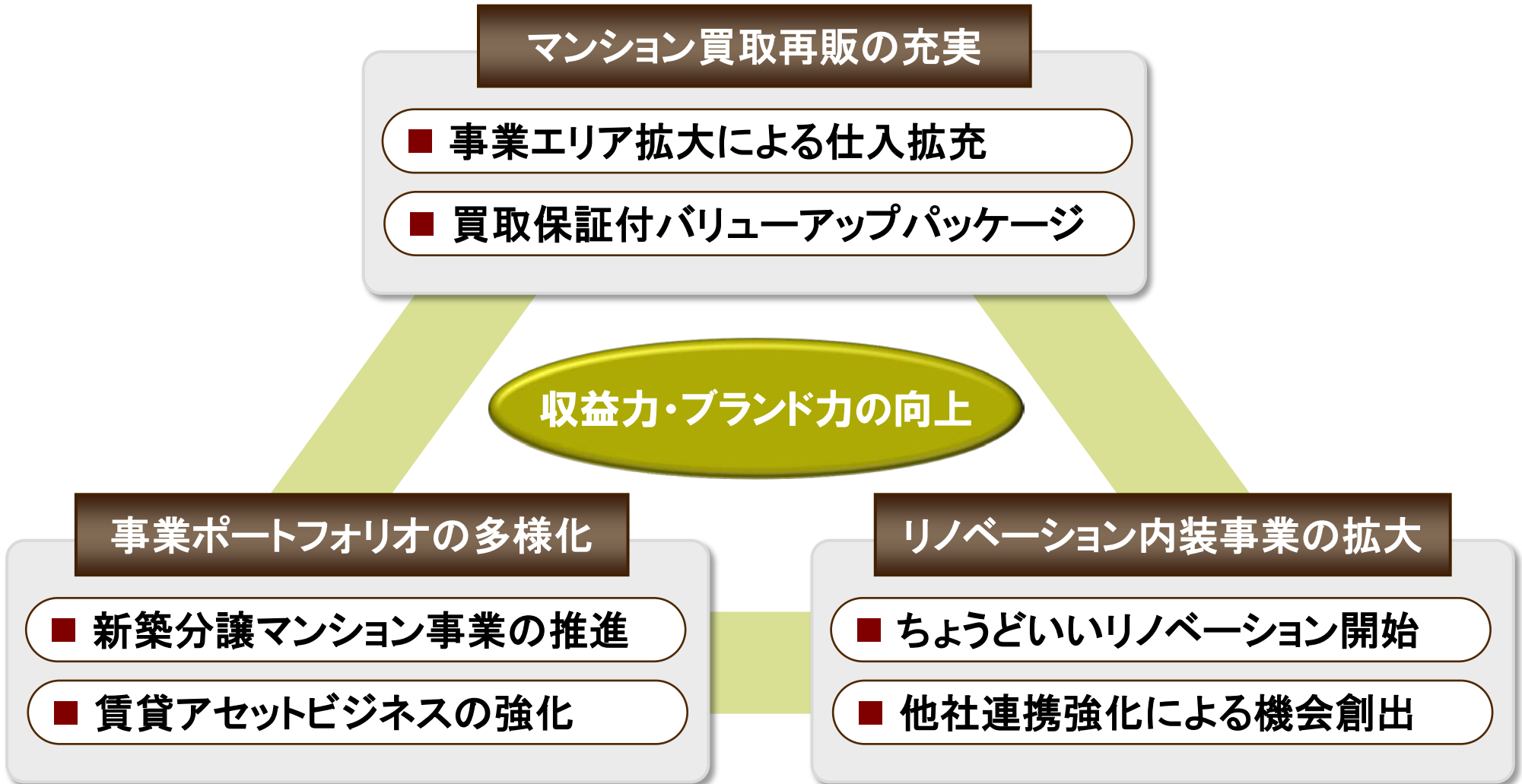


※(財)東日本不動産流通機構(東日本レインズ)のデータを基に当社が作成

4. 2013年5月期 重点方針の進捗状況

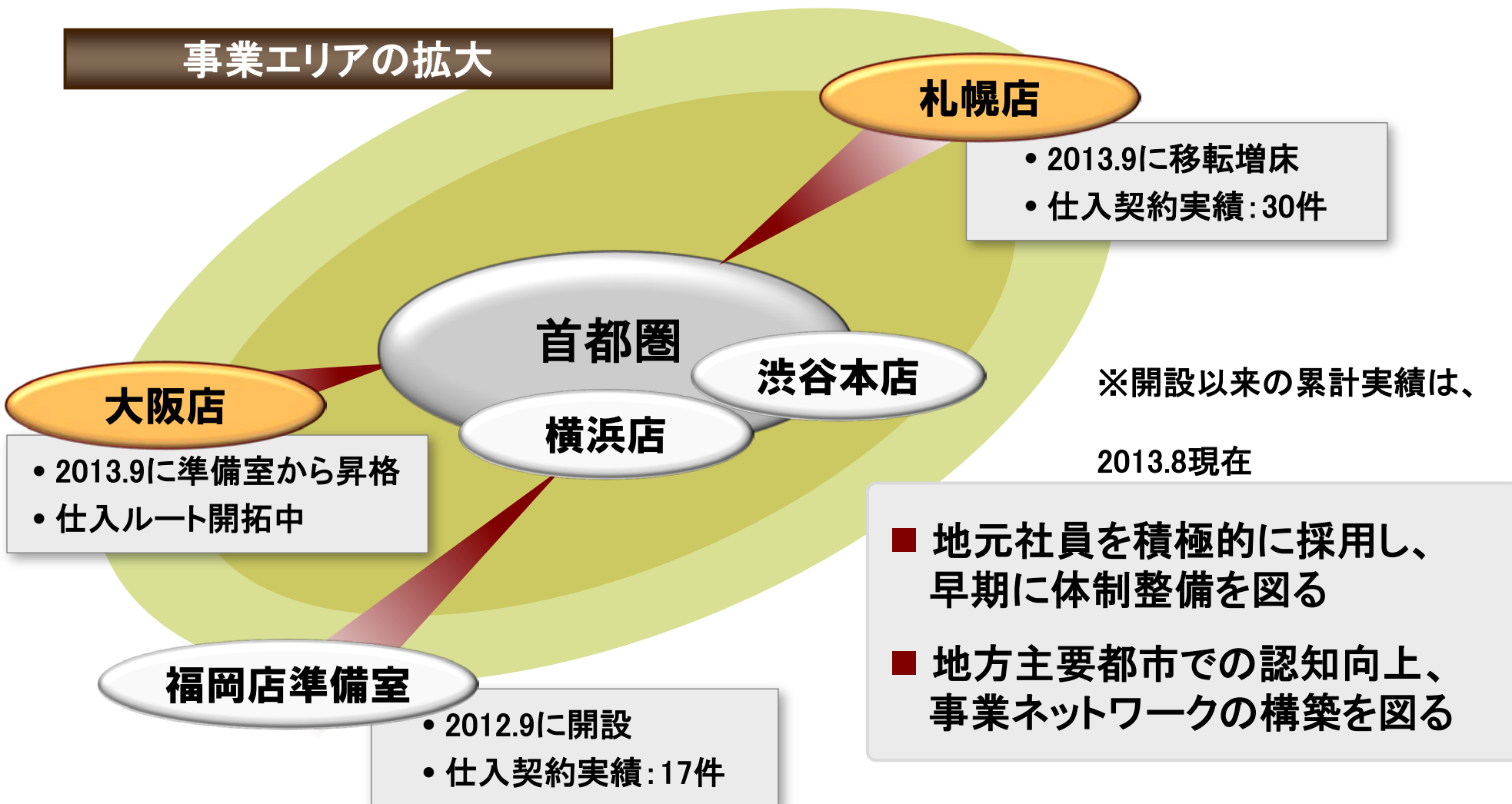


- 事業ポートフォリオの多様化と強化を推進し、収益とブランド力を向上させる。



- 首都圏に加えて、地方主要都市での事業展開を推進する

事業エリアの拡大



- マンション売却の新提案「買取保証書付バリューアップパッケージ」をサービス開始
→ マンションを「リノベーションしてから売る」新発想、しかも初期費用0円で！

当社グループだからできる・・・

4つの安心パッケージ

初期費用
0円

瑕疵担保
責任保証

アフター
サービス

物件買取
保証

- マンションの買取業者に売却した場合

お客様受取金額

販売価格

リノベ
ションで
付加価値
UP

- バリューアップパッケージで売却した場合

買取保証金額

付加価値

万一
一定期間で売却
できなくても
当社が買取ります

お客様受取金額

内装費

コンサルティング費

販売価格

→ ◎マンションをより高く安心して売りたい方を強力サポート

- 「リシャール目黒碑文谷」を現在、建設中
- 「リシャール奥沢」「リシャール田園調布」に続くリシャールシリーズ第3弾プロジェクト進行中



RESHALL
MEGURO-HIMONYA
リシャール目黒碑文谷

【物件概要】 ～ 稀少性の高い立地のコンパクトマンション ～

- 所在地: 目黒区碑文谷 (都立大学駅 徒歩8分)
- 総戸数: 23戸
- 構造: 鉄筋コンクリート造5階建
- 間取りタイプ: 1LDK・2LDK
- 専有面積: 33.94㎡～62.82㎡

- 近隣居住者から優先して販売を開始
- 2014年2月に竣工予定



リシャール目黒碑文谷 完成イメージ

■ 良好な市況を背景に、アセット物件の流動性を高める

具体的施策

- 保有物件の積極的な入れ替えを促進
 - 改修工事の実施による収益性の向上
- +
- 新プロジェクトを推進しアセットビジネスを拡充
- シェアハウス -

施策のねらい

- ◆ より収益性の高いアセットの組合せを構築
- ◆ キャッシュポジションを高め、財務体質を強化

新プロジェクトの概要

「千駄ヶ谷プロジェクト」がスタート

- 渋谷区千駄ヶ谷に、現在建設中
JR山手線 原宿駅徒歩7分、
東京メトロ副都心線 北参道駅徒歩5分
 - 地下1階・地上3階、32室のシェアハウス形態
- ◎来春に完成し入居予定

■ 内装の「下地」から選択できる「ちょうどいいリノベーション」サービスを開始



※下地：壁や床、天井、配管などの目に見えない箇所

「ちょうどいいリノベーション」とは…

自分の住まいに合った『住みごこち』『デザイン』『価格』のバランスを、自分でセレクトできるリノベーションサービス

■ 特長として…

目に見えない「下地」部分から選択が可能

- ① 既存下地を利用
- ② スケルトン(構造躯体)状態から
- ③ スケルトン+下地性能アップ

→ 六面断熱リノベーション **ECOCUBE.**
エコキューブ

■ リノベーション費用を実価格に近い金額で算出できるWEB見積サイトを同時オープン

<http://www.ku-kan.co.jp/>

自分で選べる

簡単でわかりやすい

見積り精度が高い

- 他社のリノベーション内装工事を請け負う事業を開始
→ リノベーション施工の独自ノウハウを活用し、他社との事業連携を図る

【物件仕入】 【設計施工】 【物件販売】 【アフターサービス保証】



リノヴェックスマンション

インテリックス

空間設計

インテリックス

空間設計

施工ノウハウの提供

他社物件

同業他社

空間設計

同業他社

空間設計

※空間設計： インテリックス空間設計

当社グループ
の強み

資材・設備の一括仕入

独自の新工法採用

施工監理・検査ノウハウ

◎ 2～3年以内で
月100件の受注を目指す

5. コーポレート・データ 【参考資料】

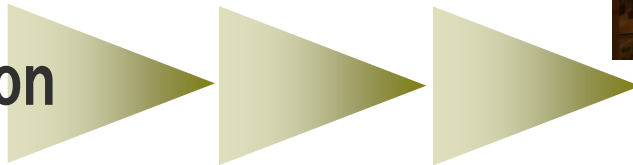
Before



After



Renovation



(単位:百万円)

セグメント	売上区分	2013年5月期 1Q		2014年5月期 1Q		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減金額	増減率
中古マンション 再生流通事業 (リノヴェックス マンション事業)	物件販売	6,241	95.7%	5,098	77.4%	△ 1,142	-18.3%
	賃貸収入	65	1.0%	56	0.9%	△ 9	-13.9%
	その他収入	8	0.1%	6	0.1%	△ 2	-24.4%
	小計	6,315	96.8%	5,161	78.3%	△ 1,153	-18.3%
その他不動産 事業	物件販売	63	1.0%	1,197	18.2%	1,133	1790.5%
	賃貸収入	108	1.7%	107	1.6%	0	-0.8%
	その他収入	35	0.5%	122	1.9%	87	250.6%
	小計	206	3.2%	1,427	21.7%	1,220	590.6%
合計	物件販売	6,304	96.7%	6,295	95.5%	△ 8	-0.1%
	賃貸収入	173	2.7%	164	2.5%	△ 9	-5.7%
	その他収入	43	0.7%	129	2.0%	85	195.5%
	合計	6,522	100.0%	6,589	100.0%	66	1.0%

※その他不動産事業: 新築マンション、ビル、戸建、土地等にかかる事業

※その他収入: (両セグメント該当あり) 子会社インテリックス住宅販売による不動産仲介手数料の売上
(その他不動産事業のみ) 子会社インテリックス空間設計による一般ユーザー向けリノベーション工事請負事業

(単位:百万円)

セグメント	区分	2013年5月期 1Q		2014年5月期 1Q		前年同期比	
		金額	粗利益率	金額	粗利益率	増減金額	増減率
中古マンション 再生流通事業 (リノヴェックス マンション事業)	物件販売	473	7.6%	701	13.8%	228	48.2%
	賃貸収入	47	72.9%	41	73.2%	△ 6	-13.5%
	その他収入	8	100.0%	6	100.0%	△ 2	-24.4%
	小計	529	8.4%	749	14.5%	219	41.5%
その他不動産 事業	物件販売	14	23.4%	114	9.6%	99	673.2%
	賃貸収入	64	59.5%	66	62.3%	2	3.8%
	その他収入	11	34.1%	32	26.1%	20	168.8%
	小計	91	44.1%	213	14.9%	122	133.9%
合計	物件販売	487	7.7%	815	13.0%	327	67.2%
	賃貸収入	112	64.5%	108	66.0%	△ 3	-3.5%
	その他収入	20	47.3%	38	29.9%	17	87.0%
	合計	620	9.5%	962	14.6%	341	55.0%

※その他不動産事業: 新築マンション、ビル、戸建、土地等にかかる事業

※その他収入: (両セグメント該当あり) 子会社インテリックス住宅販売による不動産仲介手数料の売上
(その他不動産事業のみ) 子会社インテリックス空間設計による一般ユーザー向けリノベーション工事請負事業

物件の販売件数

※その他不動産：新築マンション、ビル、戸建、土地等

	2013年5月期 1Q	2014年5月期 1Q	前年同期比
リノヴェックスマンション	294	239	△ 18.7%
その他不動産	2	1	△ 50.0%
総合計 (件)	296	240	△ 18.9%

リノヴェックスマンション販売の概要

	2013年5月期 1Q	2014年5月期 1Q	前年同期比
販売物件 平均築年数(年)	19.6	21.1	+1.5
販売物件 平均面積(m ²)	64.9	66.3	+1.4
平均販売価格(千円)	21,228	21,334	+106

リノヴェックスマンションのエリア別販売動向分析

エリア区分	2013年5月期 1Q			2014年5月期 1Q			
	販売件数	エリアシェア	平均単価	販売件数	前年同期比	エリアシェア	平均単価
東京都23区	81	27.6%	24百万円	47	△ 42.0%	19.7%	27百万円
東京都下	14	4.8%	22百万円	22	+57.1%	9.2%	21百万円
神奈川県	134	45.6%	20百万円	119	△ 11.2%	49.8%	20百万円
埼玉県	30	10.2%	19百万円	26	△ 13.3%	10.9%	19百万円
千葉県	29	9.9%	15百万円	19	△ 34.5%	7.9%	15百万円
札幌市	4	1.4%	13百万円	3	△ 25.0%	1.3%	15百万円
福岡市	0	—	—	3	—	1.3%	13百万円
その他	2	0.7%	13百万円	0	—	—	—
合計	294	100.0%	21百万円	239	△ 18.7%	100.0%	21百万円

物件仕入の概要

※その他不動産：ビル、戸建、土地等

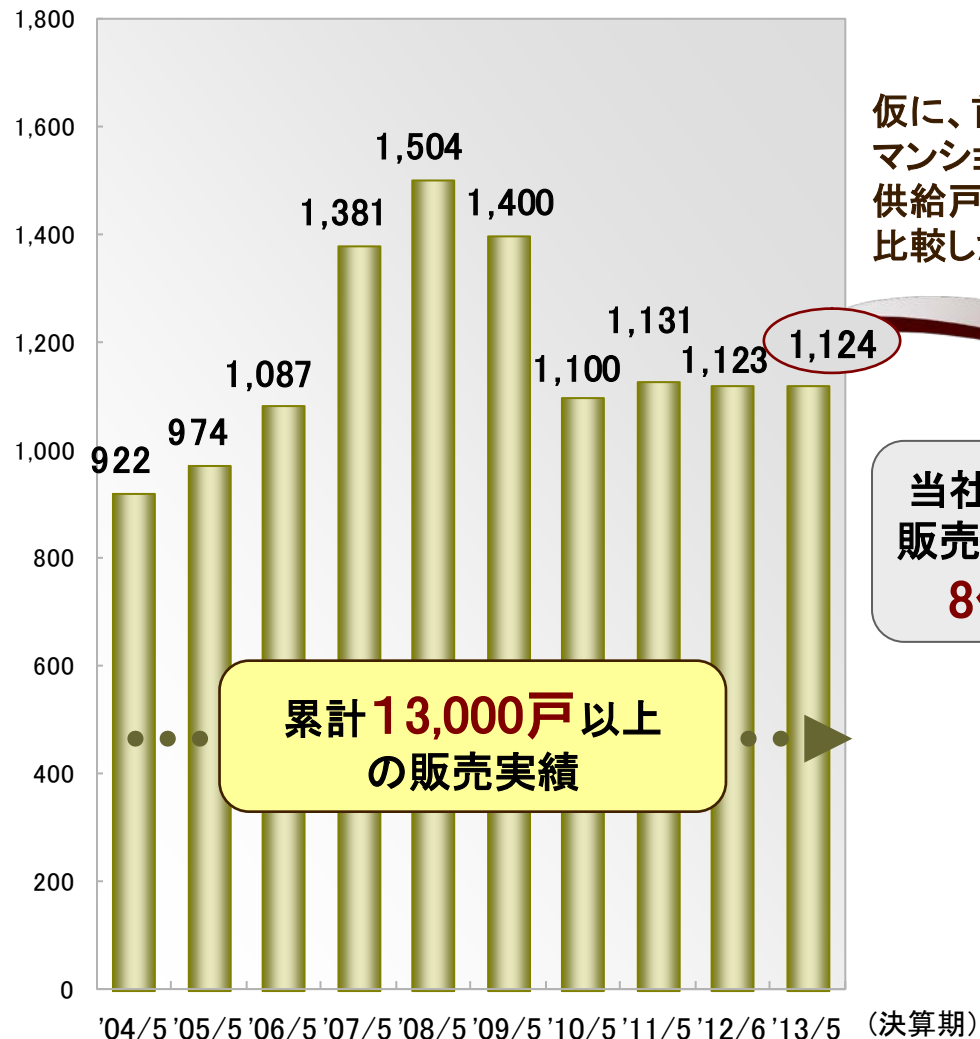
セグメント	2013年5月期 1Q		2014年5月期 1Q			
	件数	金額	件数	前年同期比	金額	前年同期比
リノヴェックスマンション	229	33億円	274	+19.7%	39億円	+18.3%
その他不動産	1	0.05億円	1	+0.0%	1億円	+123.4%
合 計	230	33億円	275	+19.6%	40億円	+20.0%

リノヴェックスマンションのエリア別仕入状況

エリア区分	2013年5月期 1Q			2014年5月期 1Q			
	仕入件数	エリアシェア	平均単価	仕入件数	前年同期比	エリアシェア	平均単価
東京都23区	53	23.1%	19百万円	57	+7.5%	20.8%	16百万円
東京都下	19	8.3%	14百万円	25	+31.6%	9.1%	13百万円
神奈川県	110	48.0%	13百万円	145	+31.8%	52.9%	14百万円
埼玉県	27	11.8%	13百万円	25	△ 7.4%	9.1%	11百万円
千葉県	16	7.0%	10百万円	12	△ 25.0%	4.4%	13百万円
札幌市	4	1.7%	3百万円	7	+75.0%	2.6%	10百万円
福岡市	0	—	—	3	—	1.1%	9百万円
その他	0	—	—	0	—	—	—
合計	229	100.0%	14百万円	274	+19.7%	100.0%	14百万円

■ 当社リノヴェックスマンション販売実績の推移

(戸数) (事業年度別)

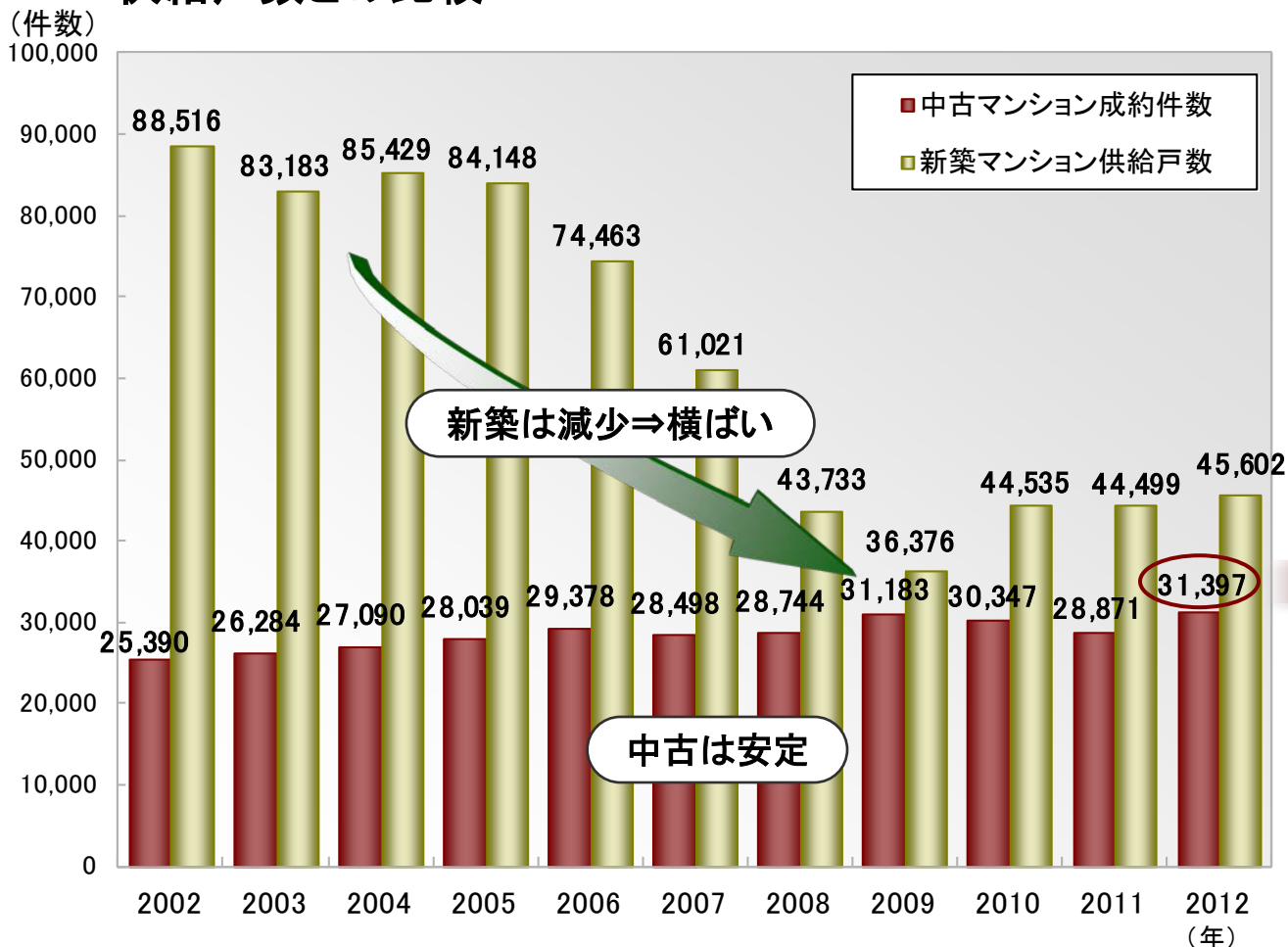


■ 2012年 首都圏新築マンション事業者別供給戸数ランキング

順位	社名	供給戸数
1	野村不動産	4,437
2	三菱地所レジデンス	4,206
3	三井不動産レジデンシャル	4,128
4	住友不動産	3,091
5	大京	1,958
6	東京建物	1,544
7	タカラレーベン	1,339
8	コスモスイニシア	922
9	ゴールドクレスト	913
10	大成有楽不動産	863
11	ナイス	835
12	日本総合地所	792
13	大和ハウス工業	747
14	オリックス不動産	730
15	名鉄不動産	696
16	伊藤忠都市開発	693
17	相鉄不動産	645
18	明和地所	627
19	東武鉄道	612
20	三菱商事	608

出所: 不動産経済研究所のデータを基に当社作成

■首都圏における中古マンション成約件数と新築マンション供給戸数との比較



※ 新築マンション供給戸数：(株)不動産経済研究所による発売戸数データに基づき当社が作成

※ 中古マンション成約戸数：(財)東日本不動産流通機構のデータに基づき当社が作成

傾向

- 新築の供給は、景気動向に左右されやすい傾向
- 中古マンション市場は、安定したマーケットを形成

展望

首都圏中古マンション成約数

◎年間で3万件超え

- 中長期的に、新築と中古の市場規模の逆転も視野に
- リノベーションマンションの注目度が高まる

■ 業界団体、一般社団法人「リノベーション住宅推進協議会」が順調に活動中



- ◎ 業界・業種の枠を超え、2009年7月に会員 109社 でスタートし4年目
 - ⇒ 会員数は順調に増えており、現在 **377社** [除く: 特別会員(4名、7法人、2自治体)] (2013.10月現在)
 - ・地方部会: 首都圏、北海道、東海・甲信越・北陸、関西、中国・四国、九州・沖縄

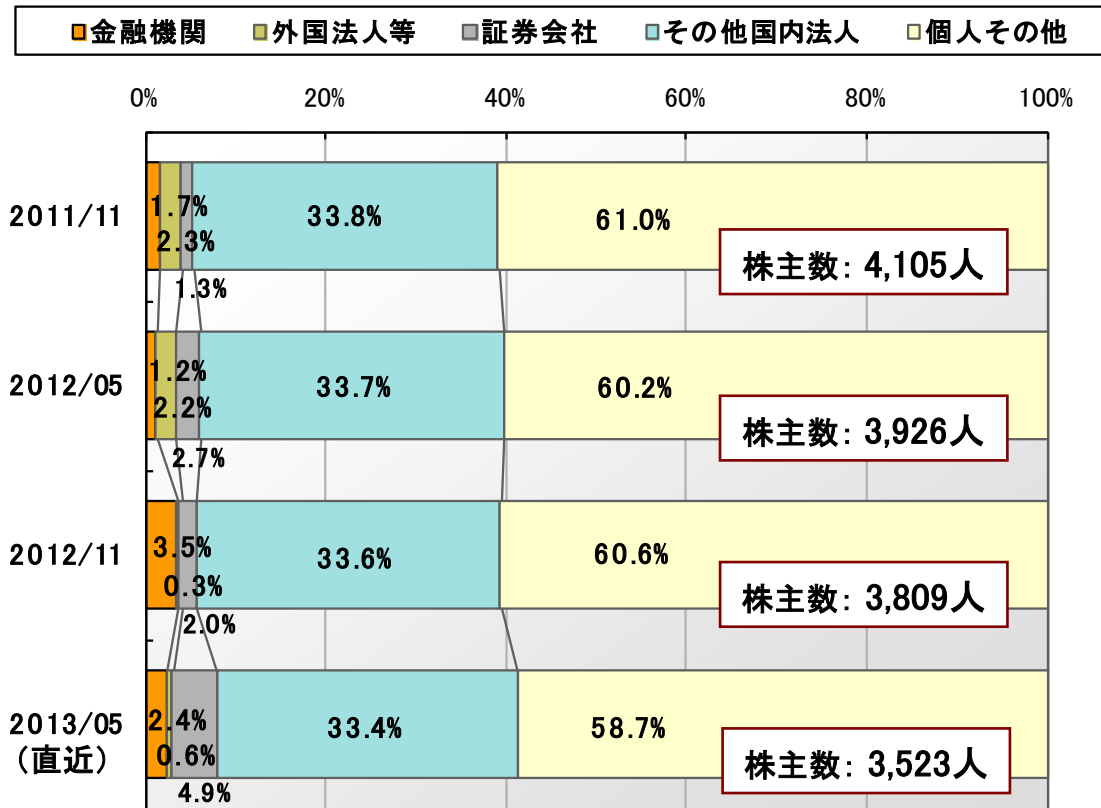
活動状況

- リノベーション住宅の統一基準を定め、消費者が安心してリノベーション住宅の取得ができるように推進
 - ・区分所有マンションの適合リノベーション住宅「R1住宅」: 累計 **10,463件** (2013.3月現在)
年度 **3,031件** (2012.4~2013.3)
- リノベーションの認知・普及を目的に各種イベントを企画
 - 「リノベーション EXPO JAPAN 2013」を開催予定 (2013.9-11)
 - ・全国でリノベーションを体験できるイベントを実施
 - セミナー、トークイベント、オープンルーム、アイデアコンペ等
 - ⇒ 第3回アイデアコンペ募集中
 - 【課題】『空き家問題を解決せよ!』



【株主構成(所有株数別)の推移】

(2013.5.31現在)



■ 機関投資家が増加: +1.5ポイント (0.7%⇒2.2%)

■ 個人投資家が減少: △1.3ポイント (65.7%⇒64.4%)

* 信用取引を含む

【大株主の状況】

(2013.5.31現在)

■ 発行済株式数: 75,569株 (2Q末比:+142株)

■ 株主数: 3,523人 (2Q末比:△286人)

	大株主名	所有株数 (株)	議決権比率 (%)
1	株式会社イーアライアンス	23,613	31.25
2	山本 卓也	12,264	16.23
3	株式会社SBI証券	2,500	3.31
4	松井 秀紀	2,250	2.98
5	インテリックス従業員持株会	1,934	2.56
6	山本 貴美子	1,330	1.76
7	田部 和昭	1,210	1.60
8	劉 文江	1,000	1.32
9	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	900	1.19
10	佐々木 康介	800	1.06

【会社概要】

【沿革】

(2013年8月31日現在)

- 社 名 株式会社インテリックス
- 設 立 1995年(平成7年)7月17日
- 代 表 者 代表取締役社長 山本 卓也
- 資 本 金 16億7,325万5,459円
- 発行済株式数 76,026株
- 上 場 市 場 東京証券取引所市場第二部
- 証 券 コ ー ド 8940
- 決 算 日 5月31日
- ホームページ <http://www.intellex.co.jp>
- 営 業 拠 点 渋谷、横浜、札幌、大阪(9/1)
- 従 業 員 数 連結186名、単体126名
- グループ会社 株式会社インテリックス空間設計
株式会社インテリックス住宅販売

年 月	事 項
平成7年 7月	東京都世田谷区に内装工事を目的として資本金1,000万円で株式会社プレステージを設立
平成8年 2月	宅地建物取引業者として東京都知事免許を取得(登録(1)第73719号)、中古マンション再生流通事業(リノヴェックスマンション事業)を開始
平成8年 7月	商号を株式会社インテリックスに変更
平成10年 2月	株式会社インテリックス空間設計(現・連結子会社)を設立
平成12年 7月	取扱物件の情報管理のための「総合管理システム」を完成、導入
平成13年 7月	株式会社エムコーポレーション(現・株式会社インテリックス住宅販売、連結子会社)の全株式を取得
平成15年 2月	横浜市西区に横浜店を設置
平成15年 2月	宅地建物取引業者として国土交通大臣免許を取得(登録(1)第6392号) [現:登録(3)第6392号]
平成15年 6月	当社グループの株式会社セントラルプラザを吸収合併
平成17年 4月	JASDAQ証券取引所に上場(証券コード:8940)
平成19年 5月	東京証券取引所市場第二部に上場
平成21年 7月	一般社団法人リノベーション住宅推進協議会設立時に加入
平成25年 6月	札幌市に札幌店を設置
平成25年 9月	大阪市に大阪店を設置



ラダーパネル



施工現場



ショールーム



ECO CUBE.

エコキューブ

六面断熱



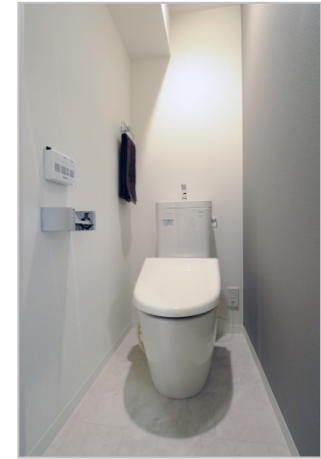
ヘッダー配管

Before – After

Before



After



IRに関するお問い合わせは、
経営企画部 IR室 阿部 まで御願ひ致します。
TEL: 03-5766-7639 E-Mail: ir@intellex.co.jp

<http://www.intellex.co.jp/>

当資料に記載された内容は、2013年10月現在において一般的に認識されている経済・社会などの情勢および当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであります。

これらの記述は、経営環境の変化などの事由により、予告なしに変更される可能性があります。従いまして、当社の業績などの予測を立てられる際に、当資料に全面的に依拠されることはお控えくださいますようお願い致します。投資に関する最終的なご判断は、ご自身がなされるようお願い申し上げます。